

平成26年度 第2回 中部森林管理局 国有林材供給調整検討委員会
(概 要)

1 開催日時

平成26年9月4日(木) 13時00分～14時50分

2 開催場所

富山森林管理署 会議室

3 検討内容

- (1) 国有林材供給調整対策について
- (2) 情報交換等
- (3) その他

4 検討結果

価格解析では各販売ブロックにおいて木材価格が「定常範囲を逸脱する動き」は確認されなかったものの、製品在庫について通常の2倍程度を抱えているとの現状報告もあり、各委員から意見等を聞き検討した結果、現時点において国有林材の供給調整を実施する必要性はないものと判断した。ただし、製品在庫の動きについては、今後も注視していく必要がある。

5 委員意見等

- ・ 工場を動かすために原木を消費している。しかし、製品在庫は通常の2倍程度ある。これは異常な状況である。
- ・ 毎年8月は製品の動きが特に悪い。今年は雨が多く材が痛み易い状態であったのと虫も入りやすい状況もあり、材質がA⇨B⇨Cと段々下がっていった。材質は落ちる製品は売れないといった悪循環が生じた。
- ・ 製品が売れないのはハウスメーカーの業績が悪いことも1つの要因。消費税の影響だけではなく住宅を建てるキャパが小さくなってきた。
- ・ 並材であっても品質管理をしっかりとし、販売に当たっては地域の特性(ブランド)を強めていくことが重要である。
- ・ 価格の上下は供給側、需要側どちらにも責任がある。お互いに考えていかなければならない問題。